



ザリガニのはさみは、とれたら、また生えてくるの

はさみは、切れても生えてくる

ザリガニのはさみのついている節は、ちぎれやすくなっています。トカゲのしっぽなどと同じように、自分の身を守るために、切れやすくなっているのです。

はさみで戦ったけど、勝てそうにない強い敵には、相手をつかんでいる、はさみが節から切れて、敵がおどろいているすきに、さっとにげだせば、自分の身は安全です。はさみはどうなるかという、しばらくは不自由しますが、ちゃんとまた、生えてくるのです。

生えかわったはさみは、はじめは小さい

とれたはさみの後に、まず、ふくろのようなものが、できてきます。ふくろの中に、はさみや足の形をしたものが、できています。はじめに生えてくるはさみは、小さくて貧弱です。でも、何回か、だっ皮をくり返しているうちに、だんだん、大きくなってりっぱなはさみに、なってくるのです。

けがをしたときも、切り落とす

敵におそわれたとき以外にも、けがなどをすると、ザリガニは、自分で、そのけがをした足や、はさみを切り落とします。そして、だっ皮したとき、新しく、きれいなはさみや足が、生えてくるのをまつのです。(監修・中山 周平)

